

さいたま市
浦和区

自治連

より
だホームページアドレス <https://u-jichiren.ciao.jp/>公式メールアドレス u.jichiren@gmail.com

会長あいさつ

浦和区自治会連合会会長

藤枝陽子



会員の皆様、記録的な猛暑と豪雨に見舞われた令和7年の夏を、いかがお過ごしでしたでしょうか。最近の状況を思うと、「大震災はいつ、どこで起こるかわからない」という現実を心に留め、日頃からの備えをしていきたいですね。

さて、今年度の活動に目を向けますと、11月2日(日)に開催された浦和区民まつり「世代を超えてつながるまつり」では、4カ所の会場にて参加させていただくことが

できました。当日は好天に恵まれ、どの会場も大変な賑わいを見せました。また、11月18日(火)には「さいたま市自治会活動功労者」の表彰式が行われ、浦和区からは3名の会長様が表彰されました。おめでとうございます。

地域活動における皆様のご苦勞は、多々おありのことと拝察いたします。私が活動の指針としているものに、福沢諭吉先生の次のような言葉があります。「他人の妨げにならないことが自由の絶対条件であり、自由には必ず規律が伴う。規律のない自由は、単なる勝手気まま(無茶苦茶)である」 私たちはボランティア組織として、この規律ある自由を大切にしながら、皆様と共に楽しく、前向きに地域を支えていきたいと考えております。

行政の方々をはじめ、自治会長・役員の皆様におかれましては、引き続きのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

区長あいさつ

浦和区長

原田冬彦



藤枝会長をはじめ、浦和区自治会連合会の皆様には、日頃より浦和区政各般にわたり、温かい御支援、御協力をいただき、誠にありがとうございます。皆様には、住みよい豊かな地域社会づくりのために、防犯パトロールや防災訓練等の防犯・防災活動、またごみゼロキャンペーン等の環境美化運動など、様々な自治会活動に御尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、昨年10月に、浦和区自治会連合会が主催する「自治会役員研修会」に同行し、宇都宮市自治会連合会及び宇都宮市みんなでまちづくり課を自治会役員の皆様と視察させていただきました。視察では、宇都宮市の自治会長の方々とは活発な意見交換をしていただき、浦和区の自治会役員の皆様のご熱心な姿に感銘を受けました。皆様の、

浦和区をより良くしたいという思いの強さを感じた次第です。

浦和区は、最新の市民意識調査で、「住みやすい」と答えた方の割合が89.9%、「住み続けたい」と答えた方の割合が88.5%と、どちらも約9割となっており、まさに「選ばれているまち」といえます。さらに、全国的に自治会加入率が低下傾向にある中で、浦和区の自治会加入率は約70%と、全市平均の約55%を大きく上回っています。

これらの結果は、コミュニティ活動に対する浦和区民の意識が非常に高いことを示しており、ひとえに自治会の皆様の日頃の御尽力による賜物であると感謝申し上げます。

浦和区といたしましても、郷土愛あふれるまちづくりを推進するため、様々な施策に取り組んでまいりますので、皆様には今後とも、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、浦和区自治会連合会の今後ますますの御発展と、会員の皆様のご健勝での御活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和7年度 さいたま市浦和区自治会連合会

活動報告

令和7年度 通常総会

令和7年度通常総会が、5月28日（水）午後1時より、浦和ワシントンホテル「プリムローズ」において開催されました。石井桂太郎副会長による開会宣言の後、会員84名のうち59名の出席により、本総会の成立が報告されました。

冒頭、藤枝陽子会長より挨拶があり、日頃の自治会活動への貢献に対し、35名の功労者へ感謝状と記念品が贈呈されました。来賓には、清水勇人さいたま市長、帆足和之さいたま市議会議長をお迎えし、祝辞を頂戴いたしました。あわせて、ご出席いただいた来賓各位の紹介が行われました。その後、被表彰者を代表して、領家四丁目自治協力会の遊馬昇会長より謝辞が述べられました。

通常総会の議事に入り、議長にひかり自治会の立花守和理事を選出し、各議案の審議が行われました。まず、第1号議案「令和6年度 事業報告」および第2号議案「令和6年度 歳入歳出決算報告」について、高橋明副会長より事業報告が、林健蔵会計より決算報告がそれぞれ行われました。続いて加藤清明監事より監査報告があり、いずれも原案通り承認されました。次に、第3号議案「令和7年度 事業計画（案）」および第4号議案「令和7年度 歳入歳出予算（案）」が提案されました。これについては、高橋副会長より事業計画案の説明が、小泉信子会計より予算案の説明がなされ、原案の通り承認されました。

第5号議案「役員改選（案）」については、石井副会長より、新役員の選出経過について説明がありました。第1回理事会における理事の互選により会長・副会長・会計が選出されたこと、監事は理事以外の会員から選出されたこと、および理事については名簿の通り各地区から選出されたことが報告されました。新役員のうち、新任として副会長に秦野博視会長、会計に荒川新治会長、監事に小川倫正会長がそれぞれ選任され、承認されました。

最後に、第6号議案「浦和区自治会連合会会則の変更について」が審議されました。石井副会長より、総会の円滑な運営を目的とした第18条の改正案が示されました。具体的には、第1項において総会の定足数に「書面表決または表決委任」の規定を新たに設けること、および第2項において、これらを行った会員を出席者として扱う旨が説明され、本改正案は本決議の日より施行することが承認されました。

全ての議案が滞りなく審議・承認された後、石井副会長が閉会を宣言し、本年度の通常総会は終了しました。



会長講習会

令和7年6月24日（火）午前10時より、浦和区コミュニティセンター第15集会所において「令和7年度浦和区自治会連合会会長講習会」が開催されました。当日は藤枝会長、石井副会長、秦野副会長をはじめ、区内各自治会より49名の会長が出席しました。



石井副会長による開会宣言に続き、藤枝会長より「最近各地で災害が相次いで発生しており、正しい知識を持ち備えることが必要です。地域の皆様と共に、より住みよいまちづくりを推進しましょう」との挨拶がありました。

講習の第1部では、自治会加入率の低下が課題となる一方で、行政との連携など、役割が広がっている現状を受け、AI（人工知能）を活用して負担を軽くする工夫が紹介されました。

続く第2部では、近年の研究によって大宮台地地下の軟弱層の存在が判明し、浦和区も決して地震に対して万全ではないことが指摘されました。特に密集した街並みを延焼から守るための対策として、建物の耐震化や避難経路の確保など、総合的な減災対策の重要性を学びました。

また第3部では、避難所運営における自治会の役割が示されました。避難者を受け入れる際の適切な判断基準として、要配慮者の状態を「治療が必要」から「自立」までの5区分で判断し、その状況に応じて病院や福祉避難所、一般避難所等へ適切に誘導・搬送する体制について解説が行われました。

最後に秦野副会長より閉会の挨拶があり、充実した内容の講習会は滞りなく終了しました。

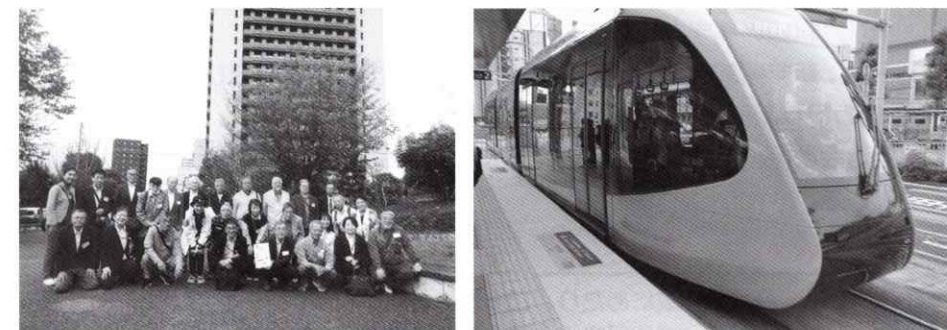
自治会役員研修会

令和7年10月15日（水）、区内各自治会の会長や役員、浦和区長、事務局を含む26名が参加し、自治会役員研修会を実施しました。一行は午前7時30分に浦和区役所前を出発し、訪問先である宇都宮市役所を目指しました。道中の車内では、藤枝会長より研修会参加へのお礼と、有意義で楽しい研修会にしようとの挨拶がありました。

宇都宮市役所到着後は、議会棟にて研修が行われました。まず、宇都宮市自治会連合会より、自治会員優待制度「宮パス」等の自治会活動支援の取組みについて紹介がありました。続いて、宇都宮市みんなでまちづくり課自治会支援グループより「宇都宮市地域で支えあう自治会条例」についてそれぞれ説明をいただきました。最後は「大変有意義な視察研修であったこと」や「今後とも交流をお願いしたい」との感謝の挨拶をもって、視察は終了しました。

視察後は地元グルメの昼食を楽しみ、午後の研修として、話題の黄色い路面電車「宇都宮ライトレール」に試乗したほか、地下30メートルの巨大神殿のような「大谷資料館」を見学しました。

全行程終了後、予定どおり帰路につき、浦和区役所到着前に石井副会長より閉会の挨拶があり、本研修会は無事に終了しました。



浦和区自治会連合会の専門委員会活動

専門委員会には、対策委員会、情報委員会、事業委員会の三つがあり、それぞれの主な活動についてご紹介いたします。

対策委員会

対策委員会では、本年度より継続的な取り組みとして、以下の二つの活動を推進していきます。

1. 浦和区自治会連合会ホームページへの単位自治会専用ページ統合の検討

個々の自治会によるホームページ管理の省力化を図り、編集・管理・セキュリティ対策を一体化してサービスを提供することを目的としています。各自治会からの投稿原稿を浦和区自治連事務局が中心となって編集し、単位自治会ごとの専用ページのコーナーを提供していきます。

2. 単位自治会における業務負担軽減策の推進

多くの関連団体から単位自治会へ寄せられる活動要請を整理・統合し、業務の効率化を推進します。あわせて、共用可能な会計ソフトの開発・提供といったIT活用により、単位自治会における事務負担の軽減を目指します。

情報委員会

情報委員会では、浦和区自治会連合会の運営に関する情報を収集・編集し、広報紙「自治連だより」を作成しています。本年度の主な活動実績は以下の通りです。

【令和7年度 事業実績】

- ・11月：「自治連だより」第23号の編集準備 例年の構成に基づき、紙面の大枠を決定しました。あわせて、各担当者への執筆依頼を行い、編集作業に着手しました。
- ・2月：校正・編集会議の実施 出来上がった初稿を詳細に点検し、発行に向けて内容の最終確定を行いました。
- ・3月：「自治連だより」第23号の発行・配布 完成した「自治連だより」を各単位自治会へ配布しました。

事業委員会

事業委員会では、浦和区自治会連合会が実施する事業の計画立案、および円滑な運営を推進しています。本年度の主な活動実績は以下の通りです。

【令和7年度 事業実績】

- ・5月：通常総会 前年度決算・事業報告の承認、今年度予算・事業計画の決議を行いました。
- ・6月：会長講習会「簡単AIを活用した自治会作業の省力化・合理化の実践訓練」および「地震災害知識と理解の再点検」をテーマに実施しました。
- ・7月：市長との懇談会 伊勢丹浦和店「クローバールーム」にて開催しました。
- ・10月：役員研修会（日帰り）宇都宮市役所を訪問。同市自治会連合会の取り組み「宮バス」や同市「宇都宮市地域で支えあう自治会条例」についての紹介と意見交換、宇都宮ライトレールの試乗、大谷資料館の見学を行いました。
- ・1月：新年懇親会 埼玉会館内「ビストロやま」にて開催しました。

【その他の取り組み】

- ・自治会と区役所の交流会（旧：区長と語る会）各地区自治会連合会の要望に応じ、個別の日程にて実施しました。

編集 後記

今号の作成にあたり、ご多忙にもかかわらず、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。本紙が、浦和区自治会連合会の活動を知っていただくきっかけとなり、地域に暮らす皆様と自治会をつなぐ『架け橋』として、地域一体となったまちづくりへのご理解を深める一助となれば幸いです。